

Fujitsu Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ

Intel® Optane™ DC persistent memory (DCPMM) の書き込み保証値と書き込みデータ量の確認方法

2020 年 1 月

有寿命部品 - 製品の書き込み保証値

Intel® Optane™ DC persistent memory (DCPMM) は、書き込み寿命を有するメモリを含んだ「有寿命部品」となります。お客様のご使用方法により、保証期間内または SupportDesk 契約期間内にメモリの書き込み寿命を迎える場合があります。

製品の保証は、弊社の定める製品保証期間/SupportDesk 契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。

ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、製品保証期間/SupportDesk 契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

DCPMM の書き込み保証値は、以下の通りです。

| 製品名 | 型名 | PRIMEQUEST 対応モデル | 書き込み保証値 (PBW) |
|---------------------|------------------------|-----------------------|------------------|
| 128GB 不揮発メモリ(DCPMM) | MC-1CK811 MCX1CK811 | 3400S2 Lite 3400S2 | 292 |
| | MC-2CK811 MCX2CK811 | 3400E2 | |
| | MC-3CK811 MCX3CK811 | 3800E2 | |
| 256GB 不揮発メモリ(DCPMM) | MC-1CK911 MCX1CK911 | 3400S2 Lite 3400S2 | 505 |
| | MC-2CK911 MCX2CK911 | 3400E2 | |
| | MC-3CK911 MCX3CK911 | 3800E2 | |
| 512GB 不揮発メモリ(DCPMM) | MC-1CKA11 MCX1CKA11 | 3400S2 Lite 3400S2 | 458 |
| | MC-2CK911 MCX2CK911 | 3400E2 | |
| | MC-3CKA11 MCX3CKA11 | 3800E2 | |

PBW (Peta Bytes Written): 総書き込み容量 (Peta Bytes)

DCPMM の状態は、管理ツールを使用して確認できます。

定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に弊社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をくださいますようお願いいたします。

また、SupportDesk 契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk 契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、弊社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

DCPMM の書き込みデータ量の確認方法

書き込み寿命に到達する時期は、お客様のご使用方法(書き込みデータ量や書き込み回数)に大きく依存します。システム設計時に書き込み量の見積りを行うとともに、導入後も定期的に状態をご確認ください。システムの使用期間内に、書き込み保証値に達する可能性がある場合には、あらかじめ予備品の購入について検討しておく必要があります。

本製品の状態は、PRIMEQUEST MMB FW の Web-UI を使用することにより確認できます。

なお、DCPMM のファームウェアおよび本体ファームウェアは常に最新の状態に保つ必要があります。ファームウェアが最新版でない場合、DCPMM の保守交換時に以下のような問題が発生します。

- DCPMM を交換する際、筐体内の全ての DCPMM のファームウェアおよび本体の統合ファームウェアを最新版にアップデートする必要があります。ファームウェアのアップデート作業は最大 4 時間程度かかります。
- 筐体内に複数のパーティションを構築している場合、ファームウェアのアップデート作業のために全てのパーティションを停止させる必要があります。

DCPMM のファームウェアおよび本体の統合ファームウェアの最新版は以下のページからダウンロードしてください。

[ダウンロードサイト] <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/download/>

書き込みデータ量の確認手順

PRIMEQUEST MMB Web-UI の GUI を起動し、[Partition > Partition#x > NVM/LRDIMM Life Cycle Management] (x: DCPMM が搭載されているパーティションの番号)を選択すると、画面右側の情報表示に DCPMM の物理搭載位置(搭載 SB および DIMM スロット位置)、容量および書き込みデータ量が表示されます。書き込みデータ量を表示するためには DCPMM を搭載したパーティションの状態が Boot または OS Running である必要があります。

以下は画面の表示例です。また、参照する箇所は赤枠の部分となります。

- 「Rated write endurance」: DCPMM の寿命設計値に対する、書き込まれたデータ量を示します。ご購入時はほぼ"0%"の状態が表示され、書き込みデータが累積することで値が増加していきます。"100%"またはそれ以上になったら書き込み寿命となります。

System | Partition | User Administration | Network Configuration | Maintenance | Logout

>Partition >Partition#0 >NVM/LRDIMM Life Cycle Management

NVM/LRDIMM Life Cycle Management Help

NVM/LRDIMMs

| Unit | Slot# | Capacity | Rated write endurance |
|------|----------|----------|-----------------------|
| SB#0 | DIMM#0C0 | 256GB | - |
| SB#0 | DIMM#0F0 | 256GB | - |
| SB#0 | DIMM#1C0 | 256GB | - |
| SB#0 | DIMM#1F0 | 256GB | - |
| SB#1 | DIMM#0C0 | 256GB | - |
| SB#1 | DIMM#0F0 | 256GB | - |
| SB#1 | DIMM#1C0 | 256GB | - |
| SB#1 | DIMM#1F0 | 256GB | - |